

# 畜産とくつく情報

平成 18 年 10 月 23 日  
(通算 第 69 号)  
問い合わせ先  
長野県庁衛生部  
食の安全・生活衛生チーム  
電話:026-235-7161

## 高病原性鳥インフルエンザを防ぎましょう！！

渡り鳥が飛来する季節となりました。本病は、渡り鳥がウイルスを運搬するといわれています。

本病の発生を防ぐには、**ウイルスを鶏舎に「入れない・持ち込まない」**対策が重要です。以下の侵入防止対策の徹底に引き続き努めましょう。

鶏舎内出入口に**踏み込み消毒槽**を設置し、**鶏舎毎に専用の作業着や長靴**を使用するなど、ウイルスの侵入を防ぐ！また養鶏場内に入る**車両や器具等の消毒を徹底！**

鶏舎内へ、**部外者が立ち入ることを禁止する！**

野鳥と接触が考えられる**川や湖等の水は、給与しない！**

**渡り鳥の飛来地には近づかない！**

鶏舎の入り口や窓にネットなどを設置し、野鳥やネズミなどの

**野生動物の侵入を防ぐ！** また、堆肥舎等にも野鳥が入らないようにする！

ウイルスを媒介する可能性のあるハエ、ゴキブリ等の**衛生害虫への対策を強化！**

高病原性鳥インフルエンザ**発生国への旅行はしない！**



飼養鶏に異常が発生したら、**最寄りの家畜保健衛生所へ連絡を！！**

## 消毒について



インフルエンザウイルスには、次亜塩素酸ナトリウム液、アルカリ液、石灰、ホルムアルデヒド液、逆性石けん液などが有効です。また、ウイルスは70℃以上、1秒の加熱で感染しなくなります。

お問い合わせは、最寄りの家畜保健衛生所又は食の安全・生活衛生チーム（平成 18 年 11 月 1 日から県庁の家畜衛生担当は農政部畜産課となります）へお願いします。

< 消毒の具体例 >

成分名	塩化ベンザルコニウム（逆性石けん液）	消石灰
購入先	一般の薬局等	ホームセンター等
方法等	希釈濃度：主に200～500倍 商品によって異なります。注意書きをよく読んで使用して下さい。 (希釈例：200倍なら水20Lに消毒薬100mlを加える。) 方法：噴霧器等で、鶏舎全体に散布します。特に出入り口付近は念入りをお願いします。汚れがひどい場合は効果が減少しますので、よく洗浄してから実施して下さい。	方法 鶏舎の周囲2～3mの範囲に、土の表面が白く覆われる程度(300g/m <sup>2</sup> )の量を散布します。 また、冬場、踏み込み消毒槽の水が凍ってしまうことがあります。代わりに消石灰を用いても有効です。

# 家きんの高病原性鳥インフルエンザの発生状況

2006年10月10日



出典：農林水産省

## 【問い合わせ先】

家保名	番号	
佐久	TEL	0267-62-4123
	FAX	0267-63-3002
上田支所	TEL	0268-23-1630
	FAX	0268-25-7160
伊那	TEL	0265-72-2782
	FAX	0265-72-2765
飯田	TEL	0265-53-0439
	FAX	0265-53-0441
松本	TEL	0263-47-3223
	FAX	0263-47-0101
長野	TEL	026-226-3659
	FAX	026-227-2665
衛生部 食の安全・生活衛生チーム	TEL	026-232-0111 (代表)
	FAX	026-232-7288

平成 18 年 11 月 1 日から、  
 県庁の家畜衛生担当は、  
 農政部畜産課となります。

< 畜産物安全安心ユニット >